

北大肝臓病教室

2022年3月23日(水) 発行 vol. 9

特別肝臓病教室のご報告



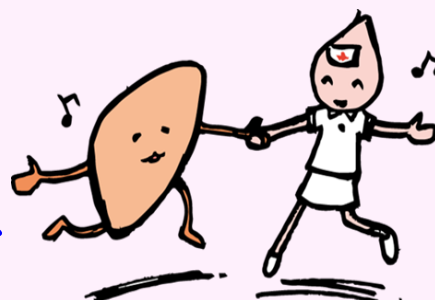
肝臓病教室の特別企画として、オンラインでの肝臓病教室を2/26(土)に開催しました。講演は、小川先生からB型肝炎の基礎から現在の治療まで、秋原先生からは肝疾患患者さんが感染症から身を守るために必要なこと、増田先生からは医療情報の収集や活用方法に関する講演でした。

当日のライブ配信には103名参加があり、録画視聴者も含めるとのべ194名の方に視聴してもらえました。30代~80代の方がスマートフォンやパソコンで視聴され関心の高さが伺えました。オンライン開催の利点を活かし、帯広・北見・旭川などからも参加がありました。

アンケートからは大変参考になった、わかりやすく肝炎の知識を整理するのにも役だったと評価頂き、皆さんのお役に立てたようで企画した甲斐があったと思いました。

コロナの感染状況をみながら、以前開催していました集合型教室も計画していきますので、それまでは紙上肝臓病教室をお楽しみくださいませ。

裏面は当院薬剤師で肝炎医療コーディネーターでもある大聖薬剤師さんに抗ウイルス薬について教えてもらいました。特に抗ウイルス薬は継続して内服することが大切ですが、その理由について丁寧にご説明頂いています。





抗ウイルス薬を飲み忘れるとどうなるのか

- ・肝炎には、大きく分けて「ウイルス性肝炎」と「非ウイルス性肝炎」の2種類があります。ウイルス性肝炎は主に4種類（A,B,C,E型）存在し、それぞれ特徴が異なります。中でも今回は慢性化しやすいB,C型肝炎について着目し、「B型肝炎、C型肝炎の治療薬を飲み忘れるとどうなるか」についてお話ししたいと思います。

①肝炎の治療目標

【B型肝炎】：B型肝炎ウイルスの増殖を抑え、慢性肝炎から肝硬変・肝不全・肝癌への進展を抑制すること。

【C型肝炎】：C型肝炎ウイルスを完全排除し、肝発癌及び肝疾患関連死を抑止すること。

②内服薬 ①の目標を達成するため②のような内服薬を使用します。

B型肝炎		C型肝炎	
一般名	商品名	一般名	商品名
ラミブジン	ゼフィックス®	リバビリン	レベトール®
アデホビル	ヘプセラ®	ソホスビル・レジパスビル配合錠	ハーボニー®
エンテカビル	バラクルード®	グレカプレビル・ピブレンタスビル配合錠	マヴィレット®
テノホビルジソプロキシフマル酸塩	テノゼット®	ソホスビル・ペルパタスビル配合錠	エプクルーサ®
テノホビルアラフェナミドフマル酸塩	ベムリディ®		

③抗ウイルス薬を飲み忘れると、

- ・抑えられていたウイルスが再び増え、肝炎が悪化してしまう。
 - ・薬に耐性を持ったウイルスが出現し、治療効果が減弱してしまう。
 - ・肝炎から肝硬変、肝不全、肝癌へ進展しやすくなってしまう。
- などの悪いイベントが起こる可能性があります。

まとめ：B型肝炎、C型肝炎のいずれにおいても抗ウイルス治療において内服薬を中断することのデメリットが大きいことがわかります。治療薬は忘れずに内服するようにしましょう。万が一飲み忘れをしてしまった場合は、すぐに相談してください。